

←左余白25ミリ

↑ 上(下) 余白30ミリ

右余白25ミリ→

理科教育のこれまでとこれから 題名は16ポイント

近年の研究動向を中心として 副題は14ポイント

○群馬一郎¹, 前橋花子² 氏名・所属は10.5ポイント

Ichiro GUNMA, Hanako MAEBASHI

¹群馬大学, ²前橋市立広瀬川小学校

【キーワード】 学習指導要領, 目的・目標論, 学習指導論, 学習評価論 (3~5語)

標題と本文は1行開けて下さい。本文は, 2段組, 余白を上下30ミリ, 左右25ミリとして下さい。

1 目的

これまでの理科教育は, ...。

(本文は10.5ポイントとして, 1行当たりの語数と行数は著者で決めて下さい。)

利根川 (2018) は.....と述べている。

2 方法

(1) 収集する文献の範囲

収集する文献の範囲は.....。.....
を表1に示す。

表1

(2) 分析の視点

それぞれの.....。

1) 目的・目標論

.....
.....。

2) 学習指導論

.....
.....。

3 結果

まず,

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

これらの.....を図1に示す。

↓ 下余白30ミリ



図1

.....
これらの結果より,であった。

4 考察

萩原 (2015) によると.....

.....
.....
.....
.....
.....

5 まとめ

本研究では.....が明らかになった。

.....
.....
.....
.....。

引用文献

萩原次郎 (2015) 「理科教育の歴史」『理科教育学研究』第56巻, 第1号, 1-10.
利根川次郎 (2018) 『これからの理科教育』群馬大学出版。

A→Zの順で記載してください。記載方法の詳細は本学会の論文誌『理科教育学研究』の投稿規程を参考にしてください。